

# ブルガリア人形劇への招待

コロナ禍による3度の延期を乗り越え、この夏ようやく実現となる共同制作公演『カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語』。この待望の公演に先立ち、ブルガリア人形劇の魅力に迫る特別講演を開催いたします！

ソフィア人形劇場の芸術監督、イヴァン・ライコフ氏を特別講師にむかえ、ブルガリア人形劇の世界と、プークとの交流の歴史を軸に、多彩な資料を交えてお話しを伺います。

また、お話しの後には、本公演の音楽を担う“ヤーヤ”ことスタン・ロヤノフ氏による、ミニコンサートもございます。公演がより楽しみになる2時間です。みなさまのお越しを心よりお待ちしております！

7月25日(火) 18:30~20:30 会場：プーク人形劇場 参加費：700円

## プークとブルガリアの人形劇のあゆみ ~ソフィア人形劇場・芸術監督を迎えて~

ソフィア人形劇場のレパトリーの作り方、代表作・実験劇場などについて、スライドを交えながらお話しいただきます。また、1958年以来的プークとブルガリアの人形劇との交流と創作のあゆみをご紹介します。



**特別講師: イワン・ライコフ** (ソフィア人形劇場芸術監督)

演出家 / 俳優 / 国際フェスティバル PUPPET FAIR ディレクター  
俳優として活躍をつづけながら、映像から舞台まで数多くの作品の監督・演出を手掛け、受賞歴も多数。ヨーロッパ各国の国際演劇祭の審査員も務める。  
2019年ソフィア人形劇場芸術監督就任  
UNIMA(国際人形劇連盟) 世界評議員、ブルガリア UNIMA 書記長



**ナビゲーター: 小柳田美子** (人形劇団プーク)

UNIMA(国際人形劇連盟) 元副会長。  
1972年入団。以来、人形劇団プークの国際活動に携わってきた。  
通称「世界のタミコ」。

**通訳: アントニオ・アンゲロフ** (ブルガリア親善大使)

## ミニコンサート 演奏: スタン・ロヤノフ “Ya-Ya”

クラリネット奏者 / サックス奏者 / 作曲家  
ヴァルナ・オペラシアターのメイン演奏家もつとめる、ブルガリアの国民的音楽家。ジャズのフーリガン、ロマ、アフリカのシャーマンの要素を取り入れたスラングを交え、独創的な現代民族音楽を演奏する。  
『カモメに飛ぶことを教えたドラ猫の物語』では、作曲・演奏のみならず、お芝居のカギとなる重要な役割で出演します。



【お申込み・お問合せ】

**プーク人形劇場** (担当: 伊井治彦) TEL:03-3379-0234 / FAX:03-3370-5120  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-12-3 e-mail: theatre@puk.jp https://theatre.puk.jp/

後援: 新宿区 新宿区教育委員会 渋谷区 西新宿1丁目町会・商店街振興組合 南新宿町会・商店会 NPO 法人日本ウニマ 日本人形劇人協会  
駐日ブルガリア共和国大使館 こくみん共済 coop ホール/スペース・ゼロ  
助成: 文化庁文化芸術振興費(劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業(地域の中核劇場・音楽堂活性化)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会